

SAF を活用したScope3削減の取り組みについて

NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社
執行役員 サステナビリティ推進部担当
兼 サステナビリティ推進部長 岸田 博子

2026年2月24日

NXグループについて

NIPPON EXPRESS ホールディングス株式会社 概要

会社名：NIPPON EXPRESS ホールディングス株式会社

所在地：〒101-8647 東京都千代田区神田和泉町2番地

設立：2022年1月4日*

代表者：代表取締役社長 堀切 智

売上高：2兆5,748億円（2025年12月期）

営業利益：514億円（2025年12月期）

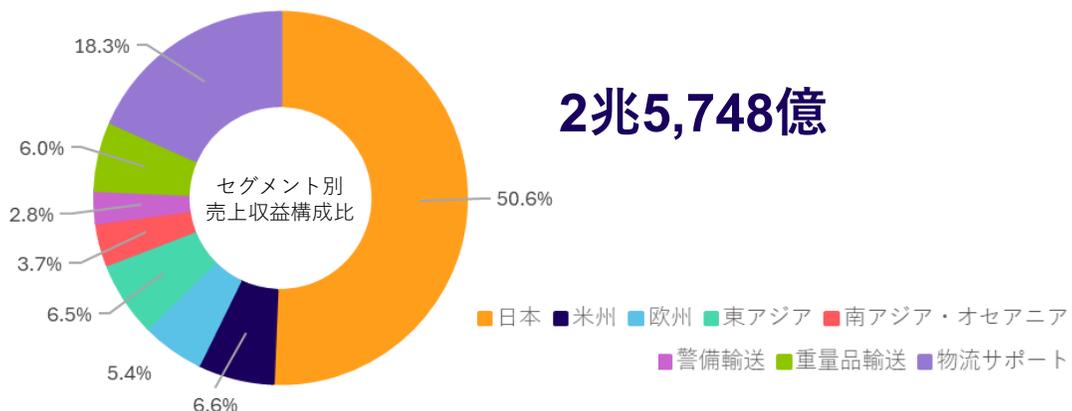
事業内容：グループ会社の経営管理およびそれに付帯する業務

○グループ会社が行う主な事業

自動車輸送、鉄道利用輸送、海上輸送、
船舶利用輸送、航空利用輸送、倉庫、旅行、通関、
重量品・プラントの輸送・建設、特殊輸送、
情報処理・解析などの物流事業全般および関連事業

*日本通運株式会社は1937年10月1日設立、2037年に創立100周年を迎えます。

連結売上収益



数字でみるNXグループ



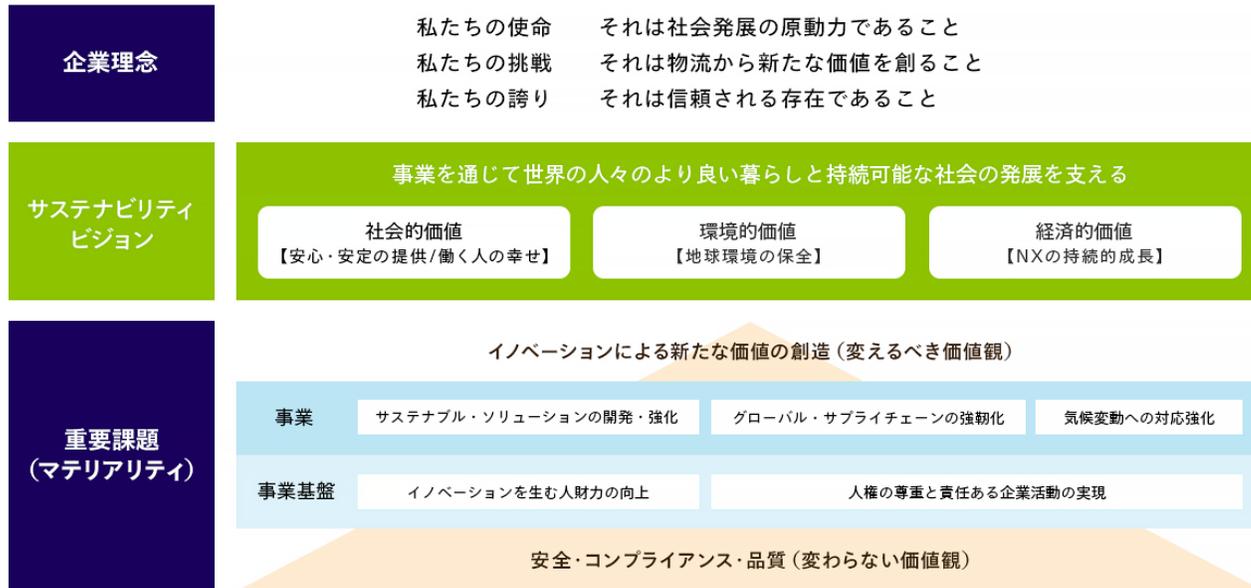
*2024年12月時点

NXグループにおけるサステナビリティへの取り組みについて

NXグループは、長期ビジョン「グローバル市場で存在感を持つロジスティクスカンパニー」の実現に向け、2025年6月にSBT短期目標の認定を取得しました。これを受け、国際基準に基づく排出削減の取り組みを一層加速しています。

サステナビリティ方針・ビジョン

NXグループは、サステナビリティ経営を一層深化させ、実効性の高い施策をグループ一丸となって推進するため、サステナビリティに対する基本姿勢と価値創出の方向性を明確化した「サステナビリティ方針・ビジョン」を策定しました。



NXグループの2030年温室効果ガス排出量削減目標

Scope1・Scope2

- ・2020年比で排出量の42%削減を目指す

Scope3

- ・2022年比でNXグループ全体のScope3 (カテゴリ4)排出量の25%削減を目指す
- ・2022年比で販売した化石燃料製品由来のScope3(カテゴリ11)排出量の42%削減を目指す



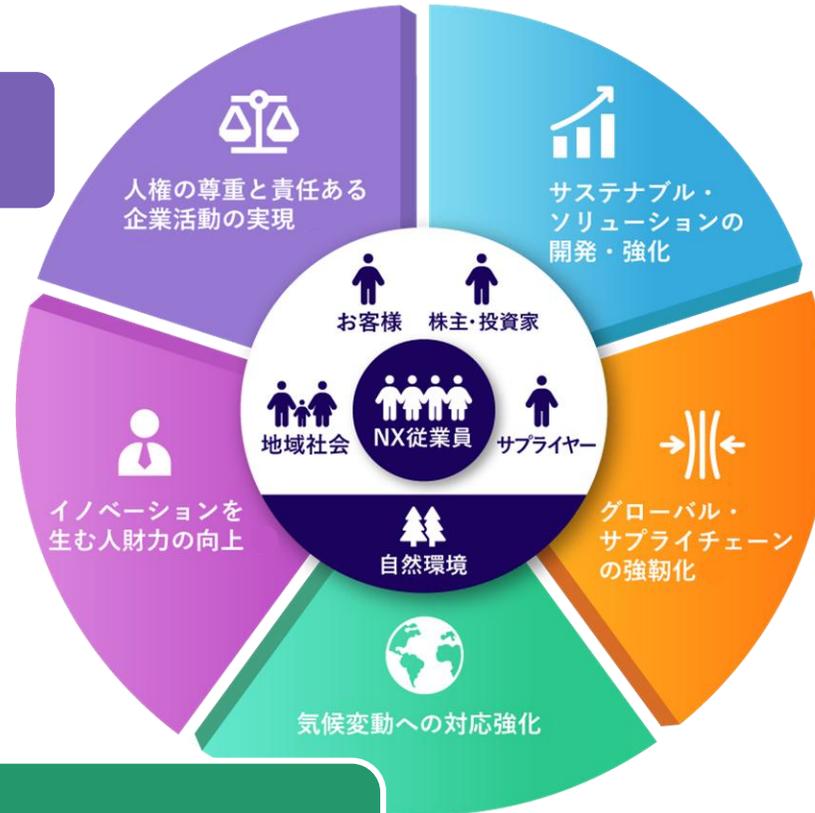
NXグループが社会と共に持続的に成長するために解決すべき重要な課題

重要課題（マテリアリティ）

- コンプライアンスの徹底
- 安全・安心の確保
- 人権尊重への取り組み

- 優秀な人財の確保・育成
- Well-being（身体的・精神的・社会的に良好な状態）の充実
- DE&I（多様性・公平性・包括性）の推進

- SCOPE1~3の削減
 - ・ 化石燃料使用に伴う CO2 排出量の削減
 - ・ 電力使用量の削減、再エネ導入の拡大
 - ・ 利用運送に伴う CO2 排出量の削減、
 - ・ 産業廃棄物の排出削減



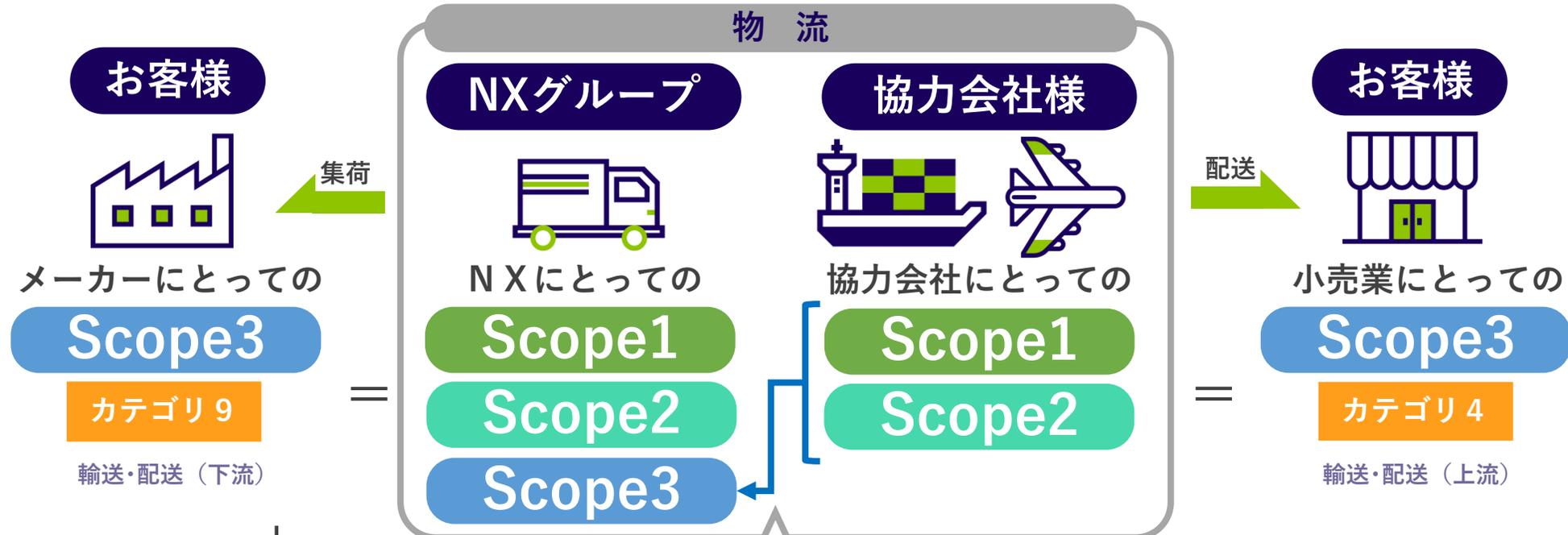
- マテリアリティ・ソリューションの強化
- 脱炭素ロジスティクス・ソリューションの強化
- DX推進によるロジスティクス・ソリューションの強化

- リスクに対する事業基盤の強化
- ITインフラの整備とセキュリティレベル向上
- DX推進によるロジスティクスの高効率化、高品質化、高収益化

自社事業におけるCO2排出削減を推進すると共に、お客様のCO2排出削減に資する商品・サービスの開発を強化しています。

Scope3への取り組み（お客様との関係性）

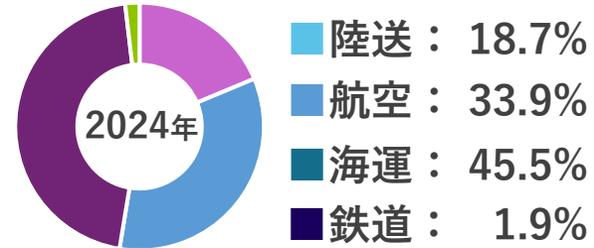
NXグループにご依頼頂く物流によるCO2排出（Scope1・2）は、お客様のScope3にも該当します。
 NXグループはお客様・協力会社様と共に排出量削減に取り組んでまいります。



NXグループ排出量割合



Scope3 カテゴリ4 輸送モード別排出量割合



NXグループが提供するScope3削減サービス

排出量の
見える化



- エコトランス・ナビ
- NX-GREEN Calculator

陸上輸送



- 共同配送
- 輸送の共同化

海上輸送



- NX-GREEN Ocean Program

航空輸送



- NX-GREEN SAF Program
- NX-GREEN FORWARDING ~AIR~

■ モーダルシフト



■ モーダルコンビネーション



NXグループが航空輸送分野において提供するScope3削減サービス

排出量の
見える化



■ NX-GREEN Calculator

NX-GREEN
Calculator

世界中のあらゆる輸送におけるCO2排出量を計算する事が可能です。過去の航空輸送実績（日本発着）を基にしたお客様毎のCO2排出量の計算結果のご提供が可能です。

航空輸送



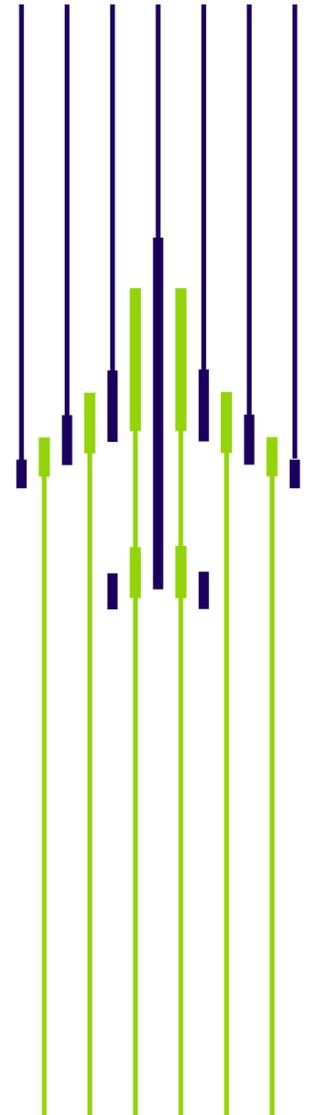
■ NX-GREEN SAF Program ■ NX-GREEN FORWARDING ~AIR~

NX-GREEN
SAF Program

通常のジェット燃料と比較してCO2排出量を約80%削減できる、バイオマスや廃油由来の燃料（SAF）を利用した、カーボンインセット型の航空輸送サービス。

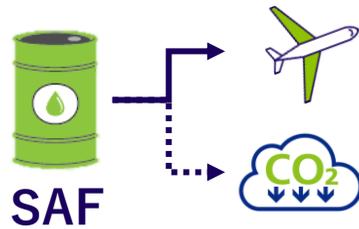
NX-GREEN
FORWARDING
~AIR~

従来の「リードタイム」による選定基準に加え、「CO2排出量」を基準に設定し、お客様が主体的に環境負荷の低い輸送プランを選択できる航空輸送サービス。



NX-GREEN SAF Programのご紹介

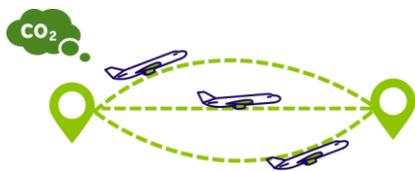
NXグループがSAFの環境価値を調達し、当社の航空輸送を利用するお客様に第三者検証付きのCO2削減証明書を提供する、カーボンインセットプログラムです。



物理的な航空燃料としてのSAF → 航空会社に消費され、航空会社のScope1削減へ (Scope1)
SAFから切り離された環境価値 NXを通じてお客様のScope3削減へ (Scope3)
(NXが提供する全ての航空輸送サービスが対象)

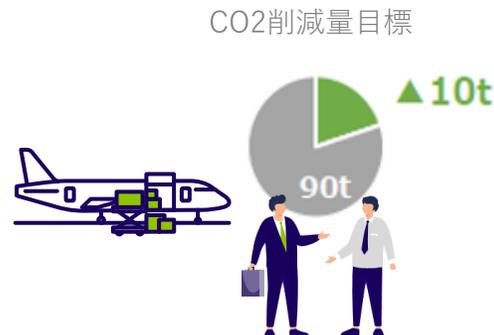
Step.1

輸送に発生したCO2排出量を算出



Step.2

ご希望のCO2削減量に基づき
SAFプログラムをご契約



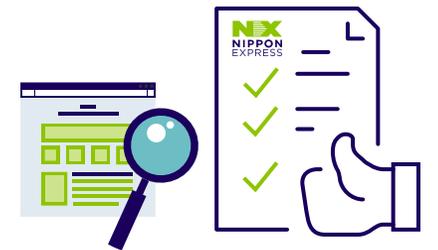
Step.3

輸送実績からCO2削減を希望する
対象レーン、出荷を抽出



Step.4

第三者機関の認証を受けた
CO2削減証明書をご提供



NXグループにおけるSAFへの取り組みについて

SAF利用促進に向けた取り組みを推進しています

Scope1・Scope2の排出削減に加え、当社グループにおけるCO2排出量の95%超を占めるScope3への取り組みが、持続的な事業成長における重要課題として位置付けています。



ANA SAFプログラム
参画

Fry to Fly Project
参画

NX欧州、ルフトハンザカーゴ
SAF使用に関する契約締結

SAF利用促進プロジェクト
「Scope3環境価値」取引実証参画

2021.10

2023.3

2023.6

2024.3

2024.8

2025.6

ANA SAFプログラム
荷主様向け
サービス提供開始

NX-GREEN SAF Program
日本でのサービス提供開始

東京都SAF助成活用事業
対象事業者へ選出

東京都SAF助成活用事業
対象事業者へ選出
(2年連続)

荷主様向けサービス

NXグループにおけるSAFへの取り組みについて

「Fry to Fly Project」に、発足当初の
2023年3月から参画しています

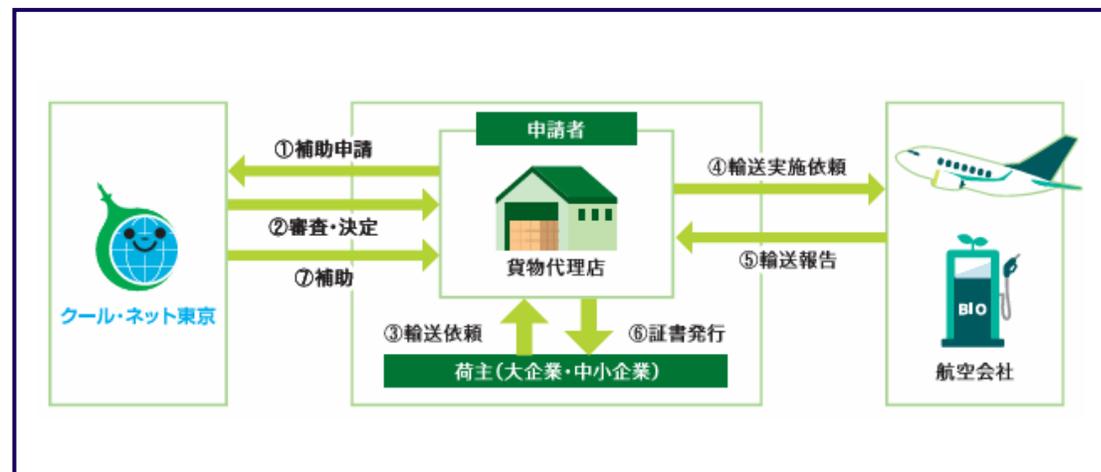
Fry to Fly Project



家庭や飲食店から出る「廃食用油」をリサイクルし、
「SAF」として活用することを目指す取り組みです

2024年度より2年連続で、東京都が実施する
「企業のScope3対応に向けた航空貨物輸送での
SAF活用促進事業」貨物代理店に選定されています

荷主様が貨物代理店を通して行う航空貨物輸送における
SAF利用時に要する経費を、東京都が支援する取り組み。



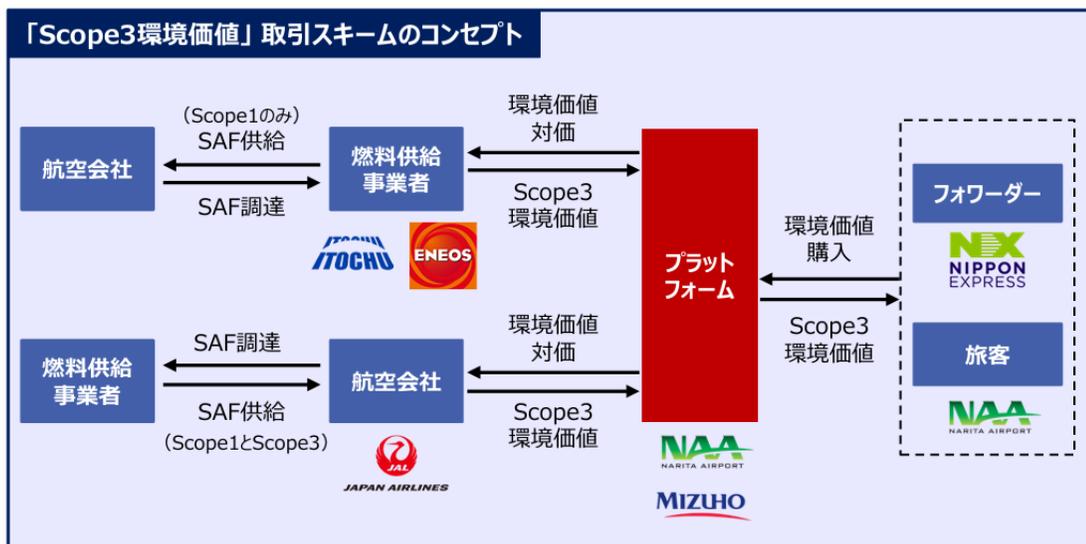
荷主様と共に、航空貨物輸送におけるSAFの利用促進を目指します

NXグループにおけるSAFへの取り組みについて

航空の脱炭素化を目指すSAF利用促進プロジェクトに参画

SAFの利用促進に向けて取り組んでいます

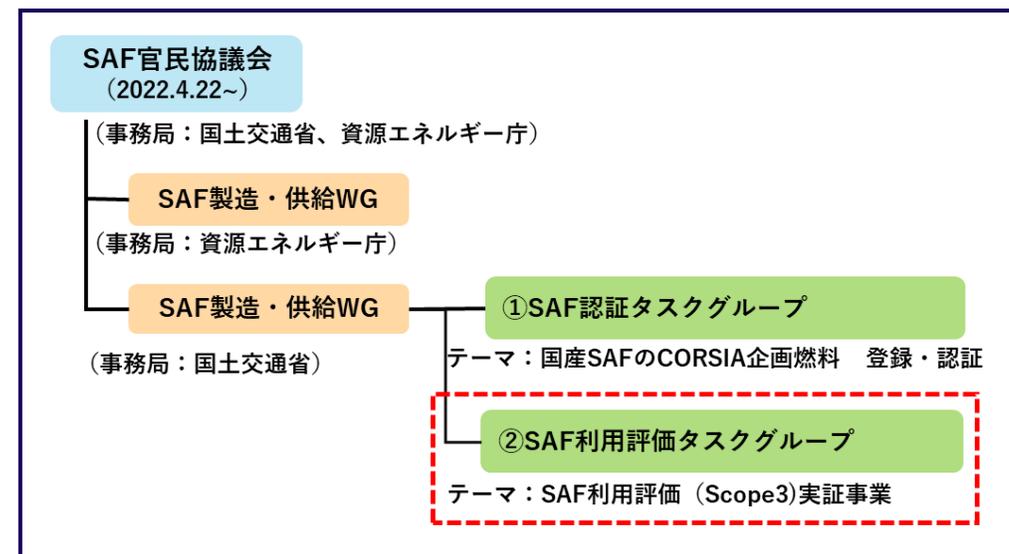
SAF利用にともなうScope3環境価値の販売者、購入者の情報をプラットフォーム上でマッチングし、取引機会を創出する実証事業



航空輸送バリューチェーン全体でSAFに係るコストをシェアすることで、SAFの利用促進を図ることを目指します

SAF官民協議会ワーキンググループにも参画し、

SAFの普及促進に向けた活動を実施しています



SAFサプライチェーンを構成する皆様と共に、ガイドライン整備に向けた取り組みを推進しています



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。
また、本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告無しに変更されることがあります。
万一、この情報に基づいて、こうむったいかなる損害についても、弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。
詳しくはこちらのサイトを御覧ください。 <https://www.nittsu.co.jp/ir/disclosure/>